

令和6年度 「～よりよい学校づくりのために～」 アンケート 生徒・保護者の集計結果より

(1) アンケート結果より

①生徒アンケートから 回答数74名 「肯定的」の基準は、「そう思う」と「ややそう思う」が70%以上とする。

生徒アンケートからは、肯定的な回答が24項目すべてとなりました。さらに、その中で21項目が80%以上でした。本校の教育活動が一定の評価を得られたと思います。しかし、まだまだ改善の必要な項目もあります。80%未満の3項目についても先生方で原因を考え、改善していく努力をしたいと思います。

②保護者アンケートから 回答数52名 「肯定的」の基準は、「そう思う」と「ややそう思う」が70%以上とする。

保護者のアンケートからは、肯定的な回答が26項目(27項目中)でした。その中で18項目が80%以上となりました。80%未満の項目に着目し、改善・努力の検証をしていきたいと思っています。

(2) 検証

①生徒アンケートから 【80%未満の3項目 ②・⑤・⑦】

「そう思う」の割合 「ややそう思う」の割合

2	わたしは、授業中、積極的に発言したり話し合ったりしている	75.6%	(36.5%)	(39.1%)
5	わたしは、自主的な家庭学習にほぼ毎日取り組んでいる	72.6%	(43.2%)	(32.4%)
7	授業や体験活動の中に、将来の職業や進路について考える時間がある	68.5%	(50.0%)	(29.7%)

②保護者アンケートから

		そう思う	ややそう思う
1	学校は、個別指導やグループ別指導など、個に応じた指導を工夫し生徒の教育に熱心に取り組んでいる	73.1%	(28.8%) (53.8%)
7	学校は、授業や教材の開発に地域の人材など外部人材を活用している	73.1%	(25.0%) (48.1%)
10	学校は、将来の職業や進路について考えさせるキャリア教育を適切に行っている	61.5%	(13.4%) (48.1%)
12	学校は、問題行動に迅速、適切に対応している	75.0%	(32.7%) (42.1%)
22	学校は、地域の自然や文化財、人材活用などの教育的資源の活用に努めている	78.8%	(21.1%) (57.7%)
23	学校は、家庭や地域と連携しようと努力している	78.8%	(30.8%) (59.6%)
24	お子さんは、家庭学習に良く取り組んでいる	73.1%	(23.1%) (50.0%)
25	お子さんは、毎日学校へ行くのを楽しみにしている	78.8%	(38.5%) (44.0%)

(3) 改善のポイント

☆基本的生活習慣

生徒たちは「あいさつ・言葉づかい」などを意識して生活している様子が見られます。また、生徒会活動や清掃活動など学校生活における集団としての活動に積極的に取り組んでいる意識が高いという結果がアンケート結果から見取ることができました。今後も、明野中学校の「強み」として継続していきたいと考えます。

わたしは、しっかりとしたあいさつ、礼儀正しい言葉づかいができています	94.6%
わたしは、生徒会活動に一生懸命取り組んでいます	93.2%
わたしは清掃活動を一生懸命にやっています	95.9%

☆学習に関すること

①授業

授業には意欲的に参加できているものの「積極的な発言や話し合い」といった面で課題が見られました。授業において「**対話的な活動**」の機会を積極的に取り入れるなど授業改善に努めていきたいと考えます。

【生徒】

わたしは、授業に意欲的に参加している

91.8%

わたしは、授業中、積極的に発言したり話し合ったりしている

75.6%

【保護者】

学校は、個別指導やグループ別指導など、個に応じた指導を工夫し生徒の教育に熱心に取り組んでいる

73.1%

②キャリア教育

「進路・キャリア教育」についても課題が見られました。地域との連携を高めながら、地域人材や地域教材の発掘に努め、特色ある授業開発に努めていきたいと考えます。

さらに、目先の進路のみにとらわれない、もっと先の自分を見据えることができるようなキャリア教育に努めていきたいと考えます。

【生徒】

授業や体験活動の中に、将来の職業や進路について考える時間がある

68.5%

【保護者】

学校は、授業や教材の開発に地域の人材など外部人材を活用している

73.1%

学校は、将来の職業や進路について考えさせるキャリア教育を適切に行っている

61.5%

学校は、地域の自然や文化財、人材活用などの教育的資源の活用にも努めている

78.8%

学校は、家庭や地域と連携しようと努力している

78.8%

③家庭学習への取り組み

家庭学習においては、「学校からの課題（宿題）」にはしっかり取り組んでいることが結果から読み取ることができた。学年や教科による「週末課題」などが成果として現れていると考えられる。

反面、自主的な学習については課題が見られた。与えられたことに対してはきちんと取り組めるがそれ以上までは到達していない。

上記のキャリア教育にも記載したが、将来的な目標を立てることで課題解決の道筋も見られるようになるのではないかと考える。「将来の目標」に向けて、「今何をすべきか」を考える機会を増やしていきたい。

【生徒】

わたしは、学校からの課題（宿題）に毎回取り組んでいる

90.5%

わたしは、自主的な家庭学習にほぼ毎日取り組んでいる

75.6%

【保護者】

お子さんは、家庭学習に良く取り組んでいる

65.0%

☆教育目標☆

『よく考え、正しく判断し、進んで実行する、明るい生徒』

アンケート結果から教育目標に関する部分として、後半部にあたる「進んで実行」・「明るい」については大まかの成果を得ることができていると考える。

前半部に「よく考え」・「正しく判断し」については課題が見られる結果となった。今後は、生徒たちに「考える」機会を多く取り入れ、「判断」につなげられるような学校を築いくことに努めていきたいと考える。

家庭や地域と連携しながら「生徒理解」に努め、「授業開発」や「授業改善」にも取り組んでいきたいと考える。